

九鬼神伝流登水派打拳体術

基本構型（五法之構）

平之構

両手腰に自然体。眼は相手方の眼に注ぐ。

平一文字之構

両手を左右に広げ、一文字之体。

青眼

体は右向き、横に右手腰。左手で敵の方へ手刀として構える。

片手飛鳥之構

右手拳、敵の方に突き出し、体は左に向け、右足は引き、腰を落し、左手を胸に。

攻勢之構

左手拳を我が面上に、右手拳を胸に。腰を落し、右足後方に引きこむ。

# 初傳型

生者

相手方は右手を片胸、左手は片袖。我もまた左手で下を、右手で敵の右襟を持つ。一度左手で引き、右手で片襟締めに出来る。右足にて敵の右足充分に敵の右側に出して、敵の右足外側確を蹴り返し、中関節折りに出て、たちまち左足後方に充分引き、座し倒す。左技同じく左技のこと。

# 鳥翼

前と同じ技にて、右足折りに掛けて背負投げ。左技左技に掛けて左背負投げ。

# 夢落

相手方は左拳、右拳で打ら来る。左拳を右手受け。右拳を左手で受け、袖掴み。右手で敵の夕霞を押す。同時に大外掛けにして倒す。左技前と同じ左技。

## 水翼

相手方は右拳、左拳、右足、敵の右拳を左腕にて受け、左拳を右手にて受け、その袖を掴む。右足で蹴り来るを左手にて左へ受け流し、同時に左手で敵の右髀兩段を押し、右足にて敵の左足踝の下方を蹴る。同時に右手は敵の左袖を掴み、右手を引き、右足を引き、座す。左手は充分に霧霞を押し、倒す。左技、左技に掛けること。

## 水車

相手方は右拳、左拳、右拳。我は自然体。敵の右手拳を左手にて打ち上げ、右手拳で敵の左足の内踵を打つ。敵は左拳、右腕にて右へ受け、敵の右拳を左手にて受けて、同時に袖を持ち引く。右手にて敵の左肩先を掴む。右足で敵の右足内側を蹴り上げて、同時に敵の左足内股に掛けて右手を引き、左手で押す。同時に左足内股に巻き込んだ足を我が右側前方に撥ね上げて返し、倒す。左技、左技に掛けること。

## 首輪

相手方は右拳、左拳、右拳、左足で蹴り込み。我は平自然体にて、敵の右拳は左手にて、左拳は右腕にて二回受け。最後の右拳を左手で受けてその袖を掴み引く。左足は右手で受けて推を打ち込部。右手でたちまち敵の左肩龍門の凹の処を下に押して、左手袖を持ちし手を強く引き、左足後方に座し倒す。左技前の左技なり。

## 山崩雪

敵は右拳、左拳、右足、右拳で来る。我は自然体にて、敵の右拳、左拳を二回受け、敵の右足を右手にて推を打ち返す。敵の最後の右拳を左手にて左へ受け落とし、敵の右手上方より敵の左襟を掴み締め。敵は右手にて我が左締めの手を打ち上る。我は変化して敵の右手外側より一本背負投げ。左技前の左技なり。

## 磯山嵐

相手方は左手にて片胸、右手拳、左足に来る。右手にて敵の胸を捕る。左手首を握る。左手にて敵の右拳を受け流し。右足も左手にて受け流し。左手で敵の右顎の下、右襟を押す。右手で敵の左手首を表逆捕り。右足を後方に充分引き、座して投げ。左技前の左技なり。

## 柳折

相手方左手片胸、右手拳、右足蹴込み来。敵我片胸を左手にて持つ其左手首を軽くか入れずに表逆捕の型に右手に持ち。左拳にて右拳と右足を受け流し。左手にて敵の左手ひじを掴み上げ。敵の左手首を表逆捕りに持つ。右足敵の左足握を内側を横蹴りにして腰を落し右足引にて坐して投げ。左技前のごとく左技なり。

## 吹雪

相手方は左手胸、右手拳、右足で蹴込み来る。敵は我が胸を左手にて持つ。その左手首を表逆捕りの型に軽く持つ。左手にて右拳を受け、たちまち右足は推を打ち、受け流し。左手にて敵の左手肘を掴み引き、上に上げる。右足にて敵の下段を蹴り上げると同時に、左腰を入れ、右手は敵の左手を表逆背負い投げ。

## 片帆

相手片は右拳、左拳、右足、左足、右拳に来る。敵の右拳は左腕にて受け、左拳は右腕にて受け流し。右足は左拳にて推を打ち、受け、左足は右拳にて催を打ち、受け。最後の敵の右手拳を左右の手で十字守型にて受け、裏鬼碁を型にして右足を大外にて投げ。左技前のごとく左技なり。

## 龍巻

相手方は右拳、左拳、右足、左足、右拳に来る。我は自然体にて、敵の右拳は左腕にて、左拳は右腕にて、右足は右拳にて催を打ち、右足は左拳に

て催を打ち流す。敵の最後の右拳を十字受け。左手にて右袖を掴んで引く。敵が再び左拳にて打て来る。内側より右手拳にて星を打ち上げる。その右手にてたまたま敵の左雨戸を強く押す。右足踵にて敵の右足催を打ち込み、右袖を左手にて充分引き、大外投げ。左技前のごとく左技なり。

# 中傳型

## 浦浪

相手方は右拳、左拳、右足、右拳に来る。

我は自然体にて、敵の右拳は左腕で受け、左拳は右腕にて受け流し。

敵の右足は左手で受け、膝を当て、最後の右拳を左手にて受け、同時に右手で裏鬼砕き型に捕りて、右足で敵の右足内側脛を蹴り込み、敵の右腕を鬼砕き逆捕りにして、右足で強く大外投げ。

## 天地

相手方は右拳、左拳、右足、右拳に来る。

我は自然体にて、敵の右拳は左腕にて、左拳は右腕にて、右拳は上にて蹴り上げ、右足は左拳にて脛を当て込み受け。

最後の敵の右拳を右手を添えて十字字受け。

右手にてたちまち敵の右手星を振り引く。

左手で敵の右手外より手首を捕り、敵の右手表逆捕り。  
右足脛で敵の鎖を蹴り上げ、左足を後ろに引き、座して右手を下方に締めて倒す。左技前のごとく左技のこと。

## 片浪

相手方は右拳、右足、右拳で打ち来る。

敵の右拳は左拳にて、敵の右拳は肩を打ち上げて受け、敵の右足を右拳にて指を打ち込み受けて、最後の敵の右拳を左腕で受け、その袖を掴む。  
右手親指で敵の霧霞を強く押し、当て込む。  
たまたま敵の右横に出て払腰に倒す。

## 雨霞掛

相手方は右拳、左足、右拳で打ち来る。

敵の右拳は左拳にて肩を打ち上げ、受ける。

敵の右足を右手拳にて指を打ち込み受けて、たまたま右手で敵の面部神慶を打ち込む。

左手で敵の右手袖を掴み、下方に引く。  
右手にて敵の右腕星を掴み、下方に引く。  
たちまち変化、一本背負投げ。  
左技前と同じく左技なり。

## 瀧之瀬

相手方は右拳、右足、右拳で打ち来る。

敵の右拳、右足は前と同じ受け。最後の右拳を左手にて受ける。

敵は我が受けし左手首を右手にて捕り跳ね、腰に来る。

右拳にて敵の跳腰の右足催を強く打ち込み、払い。

左手にて敵の右肩を捕り押し、右手にて敵の左手首を捕りて、左腕にて強く押え捕りとす。

たちまち変化して左腰入れ投げ。

左技前と同じく左技なり。

## 塩風

相手方は右拳、右足、右拳で打ち来る。

敵の右拳、右足は前と同じく受け、最後の右拳を左手にて受け、敵の右袖を掴み、右足にて敵の左内側の脛を蹴り上げる。左手で敵の右小手裏を逆掴み。右手にて敵の右腕の星を掴む。左足を後ろに引き、座して投げ。左技前と同じく左技なり。

## 山嵐

相手方は左手、片胸捕り、右手拳で打ち来る。敵の右拳は右足を一步引き、左手受け。右手で敵の胸を持つ手を小手逆捕り。そのまま敵の左腕を一本背負い。右足は左前方に回り姿勢のこと。左技前と同じく左技のこと。

## 柳風

相手方は左手、片胸捕り、右手拳で打ち来る。右足一步引き、左腕受け。右手にて敵が片胸を捕る左手を竹折にして、敵の左外側より後ろに回り、腕をねじる。左足にて敵の左足のこむらねを蹴り、引き倒す。追倒捕り型のごとし。左技前と同じく左技のこと。

## 龍波

相手方は左手、片胸捕り、右手拳で打ち来る。敵の右手拳を左手で受け、同時に敵の左手上より左手にて敵の肘袖を掴む。右手で敵の左仙減を当て込み、左腕下を掴む。敵の左腕を逆にして左足を引き、座して押え込み。左技前と同じ左技なり。

## 虎尾

相手方は左手、右胸捕り、右手拳で打ち来る。

敵の右手拳を左手で受ける。

右手にて敵の左手首を裏逆捕りして左手で敵の右手星を掴み、一度引く。右足を内股に入れて左足を巻き、引くと同時に、右手にて敵の朝霞を突き上げて、突き倒す。

左技前と同じ左技なり。

## 重岩

相手方は左手、片胸捕り、右手拳で打ち来る。

敵の右手拳を左手にて受け流す。

右手にて敵の片胸を捕る。左手首を竹折型に捕る。

左手にて敵の左腕上から肘袖を掴み引く。敵の左手を逆にて一度押える。

左足をたちまち大外に掛けて倒す。

左技前の通り左技のこと。

## 四方捕

相手方は右手拳、左手で片胸を先に捕りて、拳で打ち来る。

右足を一步引き、敵の右拳を左手にて受け、その腕首を掴み、右手で敵の

右腕下より我が左手を上重ねて鬼砕きのごとくする。一度、右足を引く。

忽ち変化し、左腕を入れて一本背負い。

左技前の通り左技のこと。

# 捌型

## 荒駒

敵方は左手胸、右足、右拳で来る。

敵が左手にて胸を捕る。右手にて裏小手逆に捕り、軽く持つ。

左手にて右足受け、右拳で受け流し。

左手にて敵の朝霞に掛にて腰落し投げ。

## 鹿足

相手方は左手胸、右足、右拳で来る。

敵が左手にて片胸を捕る手を、右手にて小手裏逆に捕り、軽く持つ。

左腕にて敵の右足を受け、右拳で受け流し。

右足にて敵の右足内側の脛を足裏にて蹴り折りにする。

同時にて左足で敵の左足首を内側より巻き上げる。

左手で敵の鬼門に当て込むのことに同時に、右手で敵の左手を小手裏逆捕りにして投げ。

# 竹声

相手方は右拳、左拳、右足、右拳で来る。

敵の右拳を左腕にて受け流し、左拳を右受け、たちまち袖を持ち引き、右足、右拳、左足にて受け、左手にてその手首を握る。

右手で敵の片脇の肋骨のところを握り、左へ引き込む。

たちまち右手胸下の仙臑を当て込んで右払腰投げ。

# 夢枕

相手方は右拳、左拳、右足、右拳で来る。敵の右拳を左腕にて受け、左拳を右腕にて受け、右足を右拳にて握りに当て受ける。最後の右拳を右手を添えて十文字に受け、右手にて敵の右袖を掴み引き、左手にて逆裏小手捕りとして一度一本背負いに出で、その腕を手枕として倒す。

# 裾捌

相手方は右拳、左拳、右足、右拳に来る。右拳を左腕で受け流し、左拳

は右手にて受け持ち、敵の右足は右拳にて脛を当て受け、右拳は左腕拳にて鼻を打ち上げ受ける。右側へ一歩前進、左手にて敵の左袖を掴む。同時に右手にて敵の左手首を裏逆捕り、左手で敵の左手内より肩を掴み、左脇投げに出て変化、右足を引いて座して投げ。

## 磯返

相手方は右拳、左拳、右足、右拳に来る。右拳を左腕で受け流し、左拳は右手にて受け流し。右足は右拳にて脛を当て受ける。最後の敵の右拳を左腕で受け、たちまち右手にて敵の右手逆裏捕り（裏逆捕り）にして、外側より一寸腰を入れて片手投げ。

## 風払

相手方は左片胸、右拳、右足で来る。敵の片胸を捕る左手の肘を鼻に当て、一寸持つ。敵の右拳を左拳にて鼻に当て、受け返す。左足を左手拳にて脛に当て、受け返す。敵の左手を右手に逆裏小手捕りにして、左足を引き、逆捕りにせし小手を上へ上げしめる。敵の左手下を外より潜りて投げ、敵は仰向けに倒す。

## 車捕

相手方は左手で片胸捕り、右拳、右足で来る。

前と同じく捕りて、最後の敵の左小手を逆裏捕り、上上げて右手にて腰に掛け、腰投げ。

## 鬼附

相手方は右拳、左拳、右足、左足、左拳で来る。敵の右拳を左腕で受け流し、左拳を右腕で受け流し、右足は右拳にて当て払い、左足は左拳にて払う。後の左拳は右手にて受け、たまたま内巻にて袖を掴む。たまたま左足を充分に引き、座して片手投げ。

## 裏鬼附

相手方は右拳、左拳、右足、左足、右拳にて来る。受けは左足まで、前の

通り。最後の右拳は十字受け。左手で外側より敵の右手首を掴み、左手で内側の袖を掴み引けば、敵の右手が逆となる。右足で敵の釣を蹴り上げ、大外掛投げ。

## 浮藻

前と同じくして背負投げ。

## 乱風

前と同じく右足に座し背負投げ。

## 奥傳型

### 風雲

相手方は右拳、左拳、右拳、左足、右拳に乗る。敵の右拳を左腕で受け流し、左拳を右腕で受け流し、右足は左拳にて俵を当て返し、左足は左拳にて俵を当て返す。最後の十字にて敵の右拳を受け、鬼碎に倒す。敵の右腕を折り、敵の右手下を踏り、右横に出て左足で敵の右足俵を蹴つて引き倒し、敵は俯けに倒す。

## 叔技

最後の右拳まで、前の通り。最後の右拳を十字字に受け、鬼碎に掛ける。  
右足脛にて鈴を蹴り上げ、座して背負い投げ。

## 返技

最後の右拳まで、前の通り。敵の最後の右拳を十字字受け、同時に右手にて敵の左腕肘の星を掴む。たちまち左手にて敵の右手上方からかみ込み、武者捕り型かみ込みをする。右足で敵の水月を蹴り込んで、左足を充分に引き、座す。敵が仰向けに倒る。

## 鬼落

前と同じく。

我が左足で敵の鈴を脛にて蹴り上げ、大外倒す。

## 岩碎

相手方は自由に左手打ち、両足も自由に蹴り来る。敵の腕は必ひず星または蝶白に打ち込んで受け、足は内側脛を打ち込んで受ける。敵の最後の右拳を充分敵側にハリ込んで左手受け。右手楯拳にくたたまさ敵の左禁穴、右禁穴、及び顔面神脛または右自泣、左自泣に打ち込む。腰払投げ。

## 雪倒

相手方は自由拳、前通り受ける。敵の最後載右拳を、右拳にく受け、敵の右手の星を突き上げ受ける。同時に左手にて敵の右手を裏小手逆捕りにする。右手で敵の左肩先を掴む。左足脛にく鈴を蹴り上げる。右足を充分に引き、座す。敵は俯けに倒す。

## 剛倒

相手方は自由打ち。前と同じ受け。前と同じく敵の右手小手を裏逆捕りにてして撥腰投げ。

## 拳風

相手方は自由打ち。前と同じ受け。敵の最後の右拳を左手にて受け、その  
手首を小手裏逆捕りする。右手手刀にて敵の左霞を打つ。右足を敵の左足  
内側に掛け投げ。

## 鬼碎

相手方は自由打ち。前と同じ受け。敵の最後の右拳を十字字受け。  
右手にて敵の右肘袖を掴み、引くと同時に、鈴を右足にて蹴り込み。  
左手にて敵の右手をかいこんで外掛け。

## 柳風

相手方は自由打ち。前と同じ受け。最後の敵の右拳を左手にて受ける。  
敵はたちまち変化して我が受けたる左手を持ち、左手にて肩先を掴み、  
払腰ヒ来る。我は充分に腰を落し、右手親指を敵の腰骨の凹の処、声に当  
て込み、左手肘を敵の鬼門に当て込み、左足を敵の右側後ろに流し込む。  
敵は横れ。

## 太刀打

相手方は前と同じく自由打ち。受身は前通り。敵はたちまち変化して撥腰に来る。我は充分に腰落して防ぐ。左手で後ろから敵の両脇に減を掴み、押し込んで逆腰投げ。

## 撥倒

相手方は前と同じく自由打ち。受身は前通り。敵はたちまち変化して撥腰に来る。我は腰を落して防ぐ。敵が元に返るのを付け入る。右手で敵の両戸を押し込んで腰投げ。

お紙急所説明 四十九穴当込みの場所、口依。

# 手技型士

## 表逆捕

親指を敵の手の甲にかくのしくく置いて、四指を敵の手の掌を掴む、小指は逆となる。

## 裏逆捕

親指を敵の手の甲にかくのごとく置いて、四指を敵の親指の方から掴む。逆となり、俯けに倒れる。

## 竹折

## 手刀

椿拳——瓜牙とも言う。

捶拳

四指を揃えて、一寸かがめて四指にくまく。

押拳

手を握り、親指中間節を立て押す拳。

扣拳

相殺四拳とも言う。親指。

孤拳

中三指拳

留拳

中二指を充分曲げる。

右拳

表鬼碎

裏鬼碎

剛者碎

敵の右手を肩に掛け、我が右上より巻いて右足で座す型。

無双捕

敵の右拳を十字字にて受け、右手で敵の肘を掴み引き、左手にて手首を掴み、敵の手を外に折る型。敵の手は外側に逆折れとなる。

踏足

足を使用する場合。

踏足

すねの使用の場合。

八法受 (十文字捕)

右を受けろの場合、左足引き、腰を落し受ける。左手で受けろ場合、右足引き、腰を落し、足を手にて受けろ場合は、拳にして必ず敵足の催または握を打ちて受けろのし。

打拳切紙大事

裏鬼科一両乳の直下四五肋骨

柳風 独骨一喉笛

霞ノ乱菊一（こゆかみの処）

飛龍乱一眼球

獅子乱一木月

虎勢ノ鈴一筆丸

夕霞一耳の後ろ凹の処

十字路一脊骨前方

龍門一脊骨凹の処

霧霞一耳直下顎の処

兩戸一顎兩横直下

天門一兩戸の下

声一腰骨凹の処

腰壺一腰骨中

雲門一雲下一胸骨

鬼門一乳上五ツ所

星一腕中關節の処

朝霞一顎

大肘 - 肩関節内側

弱骨 - 中関節上下

捕型之大事

逆小手

右の手を左手にて手の甲上に親指を直いて逆。

武者腕

外側より腕を下より上にかいむ。

裏逆

右の手を右で手の甲上に親指を直いて逆。

腕逆

腕を中関節内側より凹の処。

逆裏

腕を中関節外側より凹の処。

大逆

肩関節

逆就為

肩関節下。

鬼砵

両腕にて敵の中関節を折る。

裏鬼碎

上部より右腕を廻し、敵の中関筋を二本の腕にて折る。

鶴足裏

足の中関内。

鶴足表

足の中関外。

梅碎

足のくるぶし。

内掛

足の太股。

# 調潜型傳

## 潜捕

相手方は自由打ち。敵の拳は必ず中関節星または弱骨を打ち受けることを骨子とす。また足も必ず拳にて推搡扼の痛穴を打ち込んで受ける。最後に吾が技を掛けんとする時、一步引いて青眼の構、攻勢の構、片手飛鳥の構をたして敵にハリ込ませ、受けたる手にて敵の袖または手首を掴おこことができざるときはた一步引き返すこと。敵の隙を見て右手で龍門、雨戸、極楽等に當り込みしときは右腰を入れて投げ。

## 車輪

前と同じく相手方は自由打ち。最後に敵の右拳を左手にて受ける。敵は変化して我が受けし左小手を掴み、払腰に来る。腰を充分に落して防ぎ、後ろから右手にて敵の雨戸を突き上げ、左手にて腰の声を突き込み、引くのと同時に左足で座して落し投げ。

# 虎伏

前の通り、相手方は自由打ち。最後の敵の右拳を右手を添えて左手にて受け、右手にて敵の右手肘を掴み引き、左手にて敵の右手を裏逆小手捕りにする。右手で敵の朝霧、下中戸を掴み、右足の鈴に掛け、大外に出で左足で座す。大外崩し。

# 落伏

相手方は前の通り自由打ち。敵の最後の右拳を、我は片胸捕りに変化し、敵は背負投げに来る。腰を充分に落し、防ぐ。右手にて敵の腰骨の脊に打ち込む。敵が元に戻らんとするとき、たちまち右手で敵の両戸を押す。右足を敵の左足内腿に掛け倒し、かつ右手は敵の左肩を掴み引くのと同時に、左手で敵の両戸を押すこと。

# 不飛違

相手方は前の通り自由打ち。敵の最後の右拳を、我が受けたる左腕を掴み、引き込み、腰投げに来る。右手にて敵の右脇仙臑を押す。

敵は忽ち腰を元に返し、右足にて大外に来る。

右手にて両戸を充分当て入れ、その手を忽ち中戸に押し込み、敵の右手を一本背負い。

## 山落

敵の自由打ちは前のごとく。敵の最後の右拳を左手にて受け掴む。敵はま

た我が掴んだ手首を同じく掴んで左手にて我が片胸捕りにして、仙腰に来る。腰を落し防ぐ。我は右手にて敵の腹を四指握拳にて打ち込み、親指を忽ち人に打ち込む。敵が足元に返すのと同時に、我が左手は敵の右手裏逆小手掴み、腰を入れて投げ。

## 擲落

敵の自由拳は前の通り。最後の敵の右拳を左手にて受け、左手にて敵の右手中関節の星に親指を当て、掴み、引き込む。敵が左手拳にて再び打ち込み来る。その拳を右手にて押し上げて、右足で敵を蹴り込んで引き落とし、座して投げ。

# 敵当

敵の自由打ちは前の通り。敵の右拳を我は左手にて受け、掴みて引き込まんとするのを敵は逆に変化して片胸捕り、松腰に入り来るところを、腰を落して防ぐ。敵は元の位置に返らんとす。付け入りて左手で敵の右手上に払いあげ、右手にて敵の朝霞を押し上げる。左手で敵の右手小手を表連捕りにして右手で敵の仙減を拳にて充分当て倒す。

# 能

自由打ちは前のごとく。敵の右拳を左拳手で受け掴んで引き込まんとす。敵は引き込まれつつ我が左手脇下に右手を差し入れ、腰投げに来る。腰を充分に落とし、防ぐ。右手にて敵の腰の土声のところに強し込め。敵は驚いて元の位置に返らんとす。敵の右手首を裏逆小手捕りにして右足を下段に掛け、巻き込めおごしくして右足にて右払い投げ。

# 玉投

相手方の自由打ちは前の通り。前と同じく、敵が変化化して蹴腰に来る。

腰を充分に落し、防ぐ。右手にて敵の右腰の声に打ち込む。敵はたまたま元に戻らんとする。その敵の右手首を表(裏)逆捕りにして左手で敵の肘を掴んで、右足を引いて押し元込む。たまたま変化、体を元に返し、右手で敵の中戸を押し、払腰投げ。

## 逆投

相手方の自由打ちは前の通り。敵の最後の右拳を左手にて受け、右手で敵の朝霞に掛けて内股掛けに出る。敵は再び左拳にて打て来る。右手にて受け、掴み、左手五指を椿拳にて敵の面部に打つ。敵が右拳にて受けるその時、たまたま右手にて敵の左手を逆裏小手捕りにする。右手を朝霞に掛け、大外投げ。

## 打仙

相手方の自由打ちは前の通り。敵の最後の右拳を左手にて受け、その左手で忽ち椿拳にて敵の顔面を打つ。敵が体をかわし来たらんとするとき、右手で再び椿拳にて敵の顔に打つ。敵が再び体をかわすと同時に吾は右足で蹴り込む。敵は受ける。

一歩引くと敵は付け入り、右拳で打て来る。腰を落し左拳にて受けると同時に、左拳は楯拳にて顔面に入れる。同時に右拳を水月にて当て込み。敵の手に飛び込んで敵の左手拳後ろに右手を高く出し、腰を入れて逆背負い投げ。

# 初揺梓

二十八本

武道修業作法